

## 窓口支援事例 【福島県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

#### 東北グリーン興産株式会社

所在地 福島県岩瀬郡鏡石町

ホームページ URL <http://www.t-green.net>

設立年	1972年	業種	水はけ回復工事、井戸の構築・管理
-----	-------	----	------------------

従業員数	8人	資本金	1,000万円
------	----	-----	---------

### 企業概要

弊社では、土木・水処理の両分野の業務経験を活かし、ゴルフ場や緑地の水はけ回復工事、井戸の構築と維持管理を得意とし、以下の事業をおこなっております。

- 水はけ回復、芝の活性化工事
- 防災井戸や自家水道の構築、管理
- 不動産の賃貸借、管理等



①表土洗浄による粘土質除去

### 自社の強み

- 水はけ回復工法は、低コスト、短工期で効果が持続
  - ・施設管理者様からは「水たまりが早く消える」と好評。
  - ・利用者からは「雨上がり後、靴が汚れにくい」と好評。
- 専用機械類を開発しました
  - ・芝生等の植生を傷めにくくなっています。
  - ・排水は回収し再利用するため、周囲を汚さず経済的。
- 特許3件と意匠2件を取得後、現在は特許1件のみ維持
  - ・信用力向上、事業安定に必要な権利を維持しています。



②空井戸の掘削（オプション）

### 一押し商品

- 水はけ回復工法では、原因に応じた施工法を選択します
  - ①表土洗浄：土、芝生の粘土質を除去し、水はけ性を回復させます。土や砂の入替えに伴う産廃処理は発生しません。
  - ②空井戸の掘削：暗渠排水路がないか機能不全の場合には、弊社のさく井技術を生かして、局所排水路を形成します。
  - ③排水板の設置：暗渠排水路／空井戸へ水を導きます。バンカー や砂場のような浅い砂地に埋設できるのが特徴です。



③排水板の設置による排水促進

- 水はけ不良の原因と施工法の選択は以下の通りです

- ・暗渠排水路あり（機能良好）：①+③（表土洗浄+排水板の設置）※通常施工
- ・暗渠排水路なし（機能不全）：①+②+③（表土洗浄+空井戸の掘削+排水板の設置）

### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

つきあいのある弁理士から日本弁理士会「特許出願等復興支援制度」を紹介され、窓口に問い合わせがありました。その後、窓口担当者から経過の聞き取りを行い、開発の苦労話や取得した特許について話を聞いたことが窓口活用のきっかけとなりました。

#### 最初の相談概要

社長から、今後の開発と県外進出のため、他社技術動向を調べたいと相談がありました。まずは一般的な助言を行い、開発と受注の優先順位を尋ねました。複数の権利を保有しているにもかかわらず、受注待ちだと感じたためです。話を伺い、営業強化を提案しました。

#### その後の相談概要

社長と相談を重ね、同社の強みをまとめた技術資料の作成を提案しました。従来工法との比較表やフローチャートの作成を指導し、営業資料としても活用してもらいました。

事業展開としては、ゴルフ場管理業者、さく井業者との連携を検討されており、社長構想が固まった時点で、専門家相談してみることをお勧めしています。

また、自社技術をアピールするため福島県発明展に出品してもらい、出願経費助成については福島県産業振興センターに相談し、申請手続きをしてもらいました。

現在は、関連技術の発明相談や先行技術調査の相談が中心となっています。

#### 窓口を活用して変わったところ

開発志向から事業志向に改めた結果、欠点が見えるようになり、できることに取り組むことになりました。

- ホームページを開設し、DM 営業と併用した

名門ゴルフ場の施工実績が業界誌に掲載され、ホームページ効果もあり引き合いが増加。防災井戸や自家水道の引き合いも増え、さく井工事業の建設業許可を追加取得しました。

- 福島県発明展に出品し、出願経費助成を申請した

提出書類の作成に苦労したが、入賞・採択を果たし、社員意識・外部評価が向上した。

- 弁理士相談には、先行技術や営業資料を持参するようにした

開発者視点による発明相談から、事業視点に基づく相談に進化したと感じている。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

保有技術を活用する取組みが不足しているという指摘と、改善提案が役立ちました。専門家相談の利用についても提案いただいている。これから活用される皆様も、じっくりと相談されてはいかがでしょうか。

#### 窓口担当者から一言（氏名：鈴木 優）



水はけ回復技術は、業界注目度も高く、同社事業の柱になることが期待されます。窓口では、県庁、県ハイテクプラザ、県産業振興センターと知財支援連絡会を毎月開催しており、福島県内の中小企業に対する連携支援を行っています。是非、窓口までお問い合わせください。

## 窓口支援事例 【福島県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

東北グリーン興産株式会社

所在地 福島県岩瀬郡鏡石町

ホームページ URL <http://www.t-green.net>

設立年	1972年	業種	水はけ回復工事、井戸の構築・管理
-----	-------	----	------------------

従業員数	8人	資本金	1,000万円
------	----	-----	---------

### 企業概要

弊社では、土木・水処理の両分野の業務経験を活かし、ゴルフ場や緑地の水はけ回復工事、井戸の構築と維持管理を得意とし、以下の事業をおこなっております。

- 水はけ回復、芝の活性化工事
- 防災井戸や自家水道の構築、管理
- 不動産の賃貸借、管理等



①表土洗浄による粘土質除去

### 自社の強み

- 水はけ回復工法は、低コスト、短工期で効果が持続
  - ・施設管理者様からは「水たまりが早く消える」と好評。
  - ・利用者からは「雨上がり後、靴が汚れにくい」と好評。
- 専用機械類を開発しました
  - ・芝生等の植生を傷めにくくなっています。
  - ・排水は回収し再利用するため、周囲を汚さず経済的。
- 特許権3件、意匠権2件を取得しています
  - ・信用力向上、事業基盤の安定に努めています。



②空井戸の掘削（オプション）

### 一押し商品

- 水はけ回復工法では、原因に応じた施工法を選択します
  - ①表土洗浄：土、芝生の粘土質を除去し、水はけ性を回復させます。土や砂の入替えに伴う産廃処理は発生しません。
  - ②空井戸の掘削：暗渠排水路がないか機能不全の場合には、弊社のさく井技術を生かして、局所排水路を形成します。
  - ③排水板の設置：暗渠排水路／空井戸へ水を導きます。バンカーや砂場のような浅い砂地に埋設できるのが特徴です。



③排水板の設置による排水促進

- 水はけ不良の原因と施工法の選択は以下の通りです

- ・暗渠排水路あり（機能良好）：①+③（表土洗浄+排水板の設置）※通常施工
- ・暗渠排水路なし（機能不全）：①+②+③（表土洗浄+空井戸の掘削+排水板の設置）

### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

つきあいのある弁理士から日本弁理士会「特許出願等復興支援制度」を紹介され、窓口に問い合わせがありました。その後、窓口担当者から経過の聞き取りを行い、開発の苦労話や取得した特許について話を聞いたことが窓口活用のきっかけとなりました。

#### 最初の相談概要

社長から、今後の開発と県外進出のため、他社技術動向を調べたいと相談がありました。まずは一般的な助言を行い、開発と受注の優先順位を尋ねました。複数の権利を保有しているにもかかわらず、受注待ちだと感じたためです。話を伺い、営業強化を提案しました。

#### その後の相談概要

社長と相談を重ね、同社の強みをまとめた技術資料の作成を提案しました。従来工法との比較表やフローチャートの作成を指導し、営業資料としても活用してもらいました。

事業展開としては、ゴルフ場管理業者、さく井業者との連携を検討されており、社長構想が固まった時点で、専門家相談してみることをお勧めしています。

また、自社技術をアピールするため福島県発明展に出品してもらい、出願経費助成については福島県産業振興センターに相談し、申請手続きをしてもらいました。

現在は、関連技術の発明相談や先行技術調査の相談が中心となっています。

#### 窓口を活用して変わったところ

開発志向から事業志向に改めた結果、欠点が見えるようになり、できることに取り組むことになりました。

- ホームページを開設し、DM営業と併用した

名門ゴルフ場の施工実績が業界誌に掲載され、ホームページ効果もあり引き合いが増加。防災井戸や自家水道の引き合いも増え、さく井工事業の建設業許可を追加取得しました。

- 福島県発明展に出品し、出願経費助成を申請した

提出書類の作成に苦労したが、入賞・採択を果たし、社員意識・外部評価が向上した。

- 弁理士相談には、先行技術や営業資料を持参するようにした

開発者視点による発明相談から、事業視点に基づく相談に進化したと感じている。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

保有技術を活用する取組みが不足しているという指摘と、改善提案が役立ちました。

専門家相談の利用についても提案いただいている。これから活用される皆様も、じっくりと相談されてはいかがでしょうか。

#### 窓口担当者から一言（氏名：鈴木 優）

水はけ回復技術は、業界注目度も高く、同社事業の柱になることが期待されます。窓口では、県庁、県ハイテクプラザ、県産業振興センターと知財支援連絡会を毎月開催しており、福島県内の中小企業に対する連携支援を行っています。是非、窓口までお問い合わせください。



## 窓口支援事例 【福島県 知財総合支援窓口】

### 企業情報

#### 東北グリーン興産株式会社

所在地	福島県岩瀬郡鏡石町		
ホームページ URL	<a href="http://www.t-green.net">http://www.t-green.net</a>		
設立年	1972年	業種	外壁総合メンテナンス、水はけ回復工事
従業員数	8人	資本金	1,000万円

### 企業概要

弊社では、土木・水処理の両分野の業務経験を活かし、ゴルフ場や緑地の水はけ回復工事、建物の外壁洗浄作業等得意とし、以下の事業をおこなっております。



①表土洗浄による粘土質除去

### 自社の強み

- 水はけ回復、芝の活性化工事
- 外壁総合メンテナンス（洗浄・塗装・防水他）
- 不動産の賃貸借、管理等
- 専用機械類を開発しました
  - ・芝生等の植生を傷めにくくなっています。
  - ・排水は回収し再利用するため、周囲を汚さず経済的。
- 特許権3件、意匠権2件を取得しています
  - ・信用力向上、事業基盤の安定に努めています。



②空井戸の掘削（オプション）

### 一押し商品

- 水はけ回復工法では、原因に応じた施工法を選択します
  - ①表土洗浄：土、芝生の粘土質を除去し、水はけ性を回復させます。土や砂の入替えに伴う産廃処理は発生しません。
  - ②空井戸の掘削：暗渠排水路がないか機能不全の場合には、弊社のさく井技術を生かして、局所排水路を形成します。
  - ③排水板の設置：暗渠排水路／空井戸へ水を導きます。バンカー や砂場のような浅い砂地に埋設できるのが特徴です。



③排水板の設置による排水促進

- 水はけ不良の原因と施工法の選択は以下の通りです

- ・暗渠排水路あり（機能良好）：①+③（表土洗浄+排水板の設置）※通常施工
- ・暗渠排水路なし（機能不全）：①+②+③（表土洗浄+空井戸の掘削+排水板の設置）

### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

つきあいのある弁理士から日本弁理士会「特許出願等復興支援制度」を紹介され、窓口に問い合わせがありました。その後、窓口担当者から経過の聞き取りを行い、開発の苦労話や取得した特許について話を聞いたことが窓口活用のきっかけとなりました。

#### 最初の相談概要

社長から、今後の開発と県外進出のため、他社技術動向を調べたいと相談がありました。まずは一般的な助言を行い、開発と受注の優先順位を尋ねました。複数の権利を保有しているにもかかわらず、受注待ちだと感じたためです。話を伺い、営業強化を提案しました。

#### その後の相談概要

社長と相談を重ね、同社の強みをまとめた技術資料の作成を提案しました。従来工法との比較表やフローチャートの作成を指導し、営業資料としても活用してもらいました。

事業展開としては、ゴルフ場管理業者、さく井業者との連携を検討されており、社長構想が固まった時点で、専門家相談してみることをお勧めしています。

また、自社技術をアピールするため福島県発明展に出品してもらい、出願経費助成については福島県産業振興センターに相談し、申請手続きをしてもらいました。

現在は、関連技術の発明相談や先行技術調査の相談が中心となっています。

#### 窓口を活用して変わったところ

開発志向から事業志向に改めた結果、欠点が見えるようになり、できることに取り組むことになりました。

- ホームページを開設し、DM営業と併用した  
名門ゴルフ場の施工実績が業界誌に掲載され、ホームページ効果もあり引き合いが増加。
- 福島県発明展に出品し、出願経費助成を申請した  
提出書類の作成に苦労したが、入賞・採択を果たし、社員意識・外部評価が向上した。
- 弁理士相談には、先行技術や営業資料を持参するようにした  
開発者視点による発明相談から、事業視点に基づく相談に進化したと感じている。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

保有技術を活用する取組みが不足しているという指摘と、改善提案が役立ちました。  
専門家相談の利用についても提案いただいています。これから活用される皆様も、じっくりと相談されてはいかがでしょうか。

#### 窓口担当者から一言（氏名：鈴木 優）



水はけ回復技術は、業界注目度も高く、同社事業の柱になることが期待されます。窓口では、県庁、県ハイテクプラザ、県産業振興センターと知財支援連絡会を毎月開催しており、福島県内の中小企業に対する連携支援を行っています。是非、窓口までお問い合わせください。